

## 2013 電波伝搬実験

JJ1SXA/池

240 グループの電波伝搬実験、今年も昨年に続き絶好の移動日和、前日土曜日朝出発しました、五日市街道から青梅街道経由で、大泉 IC から外環道、東北道へと進み、宇都宮 JCT で日光宇都宮道路と高速道を多く使いました。

順調なドライブで、清滝 IC を下りてそのまま 122 号線を直進、足尾で左折しヘアピンカーブの連続する山道を登り切ると粕尾峠、以前来た時は、反対側から登ってきたことを思い出しながら、左折して、宿泊する前日光ハイランドロッジに向かう。

一寸手前にある無料駐車場が、過去センター局が運用した場所、一旦通り過ぎて宿へ進む、ここに泊まったのは何年前ことだったか忘れてしまった。

チェックインし、部屋で一休みの後は、ロケハン、e スポで 6 エリアが開いて賑やかです、6 エリアの局をコールする 1 エリアの局の信号は、メリット 5 で入感、おそらく水平アンテナでビームは 6 エリア方向とすると、ほとんどバックですが、この入感状況ではこの場所で大丈夫だろうと判断。

夜、青梅市の木村 OM を呼び出して QSO、双方メリット 5、運用場所はここで良いと再確認、木村 OM、VY TKS です。

以前来た時は、他のメンバーは、駐車場で、テント泊、車内泊でしたが、こちらの泊まりはバンガローで、4人 1 部屋 2 段ベッドというスタイル、故人となった小澤 OM、それと前畑 OM に我等夫婦の 4 人、夕食のおかずのメインは豚肉の鉄板焼き、屋外でバーベキュー風、小澤 OM は肉が駄目で食べる物はほとんど無く気の毒でした。

今回は、昼の部屋、夕食は食堂で、豚肉の鉄板焼きの他、鮎の塩焼き、天麩羅盛り合わせ等と料金の割にはまともな食事が出ました、料理につられてビール大瓶 1 本、日本酒 2 合を注文、もう少し飲みたかったが、明日の伝播実験の事を考えて自粛、SXB 曰く、これでも飲み過ぎ…

本番当日、朝食を済ませて、チェックアウト、精算は SXB に任せ、早々に車へ乗り込む、一渡りワッチすると皆さんの信号はメリット 5 で受信できる、例年余り聞こえない所へ移動しているので、一寸感激、特にキー局が聞こえるのは非常にうれしい。

各局とレポート交換、尾鷲市の CTR 局、富士山の UPE 局は入感なし、伊豆の WYU 局、銚子の FYQ 局はかつかつ、場所を変えたら、この 2 局はばっちりでしたが、UPE 局との QSO はかなわず残念でした。

実験が終わり、そのまま真っ直ぐ帰るのも芸は無いと、とりあえず中禅寺湖へ向かう、紅葉の季節と違い、いろは坂もすいすい進行、しかし駐車スペースはかなりの混雑でした、昼食を食べて帰路につきました。

往きと同じ東北道を真っ直ぐ帰るのを止めて、北関東自動車道から関越道へと、あえて少し遠回りして帰って来ました。